事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月19日更新

事務事業名		障がい者団体等活動支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	小畑 英之
	施策	8	障がい者(児)の自立と社会参加の促進			所属課	福祉課	担当者名	深見 真子
	施策の柱	30	障害者(児)への社会参加の促進			所属班	障がい福祉班	(内線)	1158
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 3	事業連番 10518	根拠法令	合志市補助金等交付規則		
終了、開始年度	☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始		事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	①障がいを持った方が自立した生活と社会参加を目的とした活動に要する経費を補助する事業。障がい者相互の親睦と活動を支援するため設立された各種団体に補助を行う。 ②障がい者団体等各団体への支援事業の一部で菊池圏域、熊本県域で実施する事業である。菊池地域希望の会運営活動支援、熊本県精神保健協会参画、地域療育センター参画、熊本県障がい者スポーツ大会参画のため 負担金(負担割合)を支払う。
【業務の流れ】	①事業計画承認申請受付→②審査、内示→③審査、交付決定→④概算払→⑤実績報告→⑥審査、補助金交付確定通知 ②負担金の請求受付→支払 (負担割合：人口割、登録者割などにより団体の事業費を市町村で分割負担する)
【主な予算費目】	補助金、負担金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:	
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	団体に対して活動補助金を交付し、障がい者の自立した生活と社会参加を支援した。	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	団体に対して活動補助金を交付し、障がい者の自立した生活と社会参加を支援する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由	
→ ア: 活動助成額	イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	障がい者団体	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位) 人
		→ ア: 会員数	イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	相互の親睦と社会参加を促進する。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位) 回
		→ ア: 活動回数	イ:
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
社会参加の促進を、活動実施回数で把握する。			全体計画
			~ 年度
			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	ア	千円	467	457	457	457	457	457	457	457
	イ									
② 対象指標	ア	人	106	79	100	80	100	100	100	100
	イ									
③ 成果指標	ア	回	75	46	100	38	100	100	100	100
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	467	457	457	457	457	457	457
		(A) 事業費計	千円	467	457	457	457	457	457	457
		(A)のうち指定経費	千円	175	175	175	175	175	175	175
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	5	4	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	410	410	575	420	575	575	575		
(B)人件費計	千円	1,603	1,560	2,290	1,529	2,290	2,290	2,290		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,070	2,017	2,747	1,986	2,747	2,747	2,747		

事務事業名	障がい者団体等活動支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【理由】 新型コロナウイルスの感染予防対策による活動自粛は、徐々に緩和されているが、前年度に比べて大幅な活動増加は見込まれなかった。また、会員の高齢化等により、積極的な活動参加が難しくなっている。しかし、各団体ごとに活動を通して、相互の親睦と社会参加を促進している。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 新型コロナウイルス感染症による活動制限が今後緩和されていく見込みがあるため。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 限られた財源からの助成であるため
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 障がい者団体等各団体への支援事業の一部事業であるため類似する他事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 団体の活動において会費のみでの運営は難しく、独自の財源確保も限られているため、市の補助を受けることにより現在の活動が維持できていることから削減の余地はない
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金の交付事務等必要最小限の事務であり削減は困難
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 会費を徴収し運営されており公平・公正である
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市が補助金を支出する役割は、適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

障がい者団体の解散により、会員数や活動回数の減少がみられている。しかし、各団体ごとに感染対策を実施しながら活動を継続しており、障がい者の社会参加の促進が図られている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善 (有効性改善) ☐事業のやり方改善 (効率性改善) ☐事業のやり方改善 (公平性改善) ☒現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) </p> <p>障がい者団体による会員数の減少等は見られるが、障がい者の社会参加の促進のため継続して事業を実施する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>障がい者団体の周知のため、窓口等でチラシ配布を行うなどの、会員数の増加を支援する。</p>																						